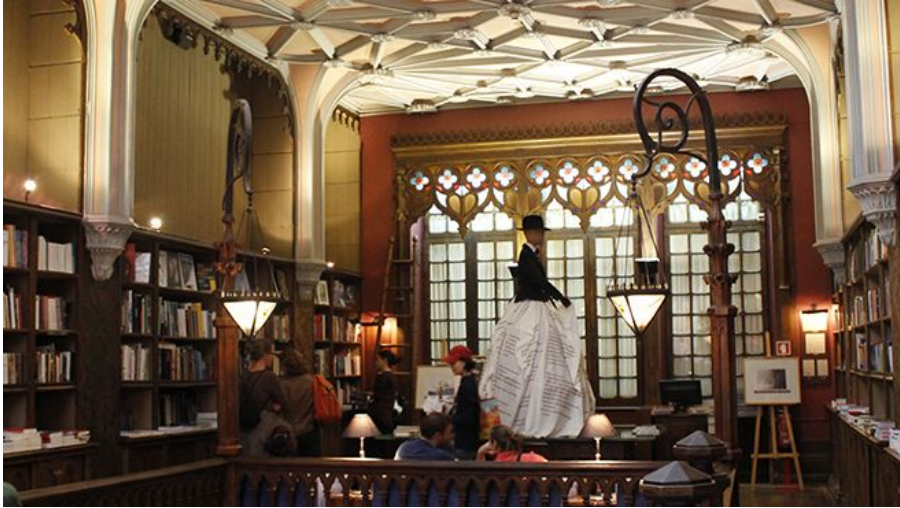


本が好きな人のための特別な場所

について



本が好きな人のための特別な場所

多くの観光客用旅行プランには、本が好きな人が特別に感じる独特の雰囲気の、ポルトガルを訪れる人にとって見逃せないスポットが含まれています。

ポルト [PORTO]

レロイ・イ・イルマオン書店

この小さな書店は1906年に建てられ、象徴的なクレリゴスの塔 [Torre dos Clérigos] の近くのポルトの歴史地区にあり、ハリー・ポッターの著者が着想を得た場所として世界的に知られています。世界で最も美しいと言われる書店は、ネオゴシックのファサードがアールヌーボー様式で飾られ、なかにはとてもアイコン的な階段があります。

ポルトのなかでも特に人気が高いのはセラルヴェス財団です。庭園で有名なこの財団は、カーサ・アート・デコ [Casa Art Déco] と現代美術博物館があり、著名な建築家のシザ・ヴィエイラにより設計されました。空間と文化的プログラムのほか、現代美術と芸術家の書籍に特化した書店も構えています。

コインブラ [Coimbra]

ジョアナ図書館、コインブラ大学 [Biblioteca Joanina, [Universidade de Coimbra](http://www.ucp.pt)]

世界遺産に登録されているコインブラ大学に足を運ぶのであれば、是非ジョアナ図書館も見学してみてください。この図書館は、D.ジョアン5世により1728年に完成され、バロック様式の彫刻と絵画で装飾されているのが特徴です。この図書館には、16～17世紀にかけて書かれた書籍が保管されており、とても珍しいものも含まれています。本棚には、訪問者だけに明かされるしかけがあります。特に、本棚に住みつき、本を「きれいに」掃除してくれるコウモリの小集団の物語は見逃せません。



Biblioteca Joanina da Universidade de Coimbra © Paulo Mendes

オビドス [Óbidos]、文学の村

ポルトガルの多くの観光スポットのなかでも、オビドスは特に愛されています。この地は、王妃に与えられた場所であり、ユネスコにより「文学の創造都市」に名づけられています。以来、文学が壁に囲まれたこの村を飲み込み、宗教的な活動で使われなくなった古い教会、小さな食料品店、カフェ、また文学をテーマにしたホテルなど、普通ではないような場所に書店があります。

詳細はこちら: <http://obidosvilaliteraria.com/cidade-criativa-da-literatura/>

マフラ [Mafra]

マフラ修道院の図書館 (Biblioteca do Palácio Nacional de Mafra)

マフラ国立宮殿と修道院の巨大な建築物は、D.ジョアン5世(1707-1750)の時代に設計されたもので、とても貴重な王室図書館が含まれています。この図書館は83メートルあり、18世紀で最も重要な王立修道院の図書館です。4万冊ほどからなり、ジョゼ・サラマーゴの作品『修道院回想録』で参照されている、フランシスコ会修道士により使用されていた組織のシステムが未だに展示されています。

。



Palacio Nacional de Mafra © António Sacchetti

リスボン [LISBOA]

シアード [Chiado]

シアードに位置するリスボン最古の地域の一つ、ベルトラン書店は1732年に設立されました。リスボンで最も古い書店で、今も営業を続けています。ここには、1840年から営業が続くフェリン書店もあります。

コスモポリタンなこの地区は、長い間リスボンの文化的生活の中心であり続け、カフェ、バー、シアター、コンサートホールなどが常にアーティストやパフォーマーを集めてきました。古い書籍が好きな方は、カルサーダ・ド・コンブロ [Calçada do Combro]周辺の通りを散策するのがお勧めです。Bica

Elevatorの近くに路面電車が走っています。中古本やアンティークを扱う店舗の多さにきっと驚くでしょう。

アヴェニダ・ノヴァ [Avenidas Novas]

最新の作品へのレファレンスでは、グルベンキアン財団とCulturgestには、芸術に特化した書店があります。

さらに興味がある方には、ツアーではなかなか行くことのできない、地元の書店に足を運ぶことをお勧めします。パイロ・アルト [Bairro Alto]のラルゴ・ド・カリーリス [Largo do Calhariz]には、カモンイス図書館があります。18世紀に建てられた建物には、訪問者を歓迎する読書部屋があり、しゅくいの天井と、タンガス川を望む景色をお楽しみいただけます。カンボ・ペケーノ [Campo Pequeno]では、ガルヴェイアス図書館に生まれ変わった17世紀の貴族の宮殿がすぐに見つかります。絵画やセラミックタイルで装飾された読書部屋に是非お立ち入り下さい。小さな庭園でコーヒーを飲むのもおすすめです。



Lx Factory © Turismo de Lisboa

Lxファクトリー、「ゆっくりと読書を楽しむ書店」[Lx Factory]

アルカンタラ [Alcântara] 地区には、文化、レジャー、クリエイティビティのための空間が19世紀の工場跡にあります。Lxファクトリーではお店やカフェ、レストラン、そしてクリエイティビティとデザインのワークショップが開催されています。古い印刷店に設けられた書店がお勧めです。ここはギャラリーにもなっており、文化の共有と普及のための空間でもあります。